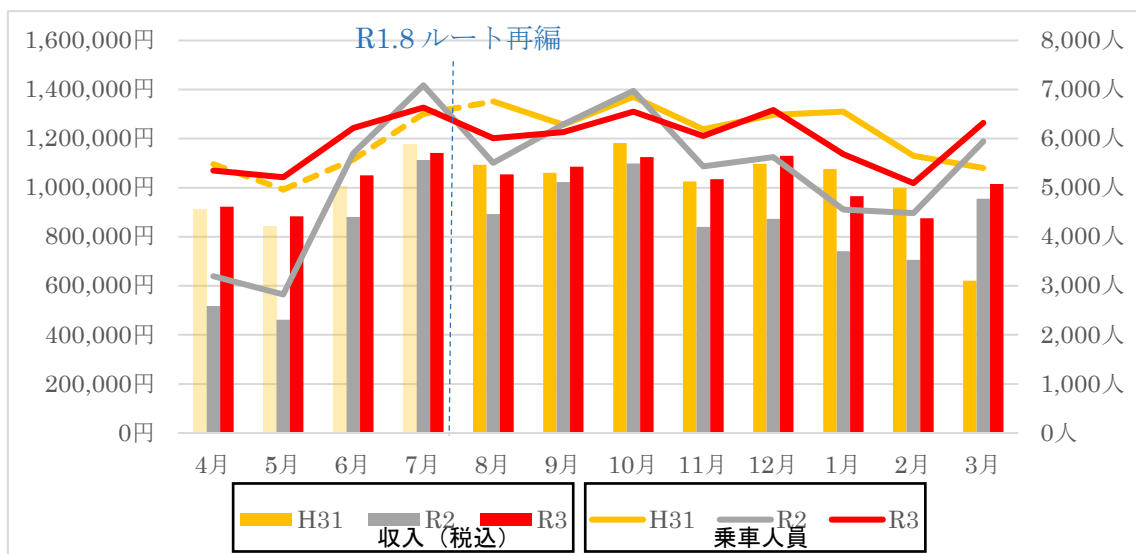


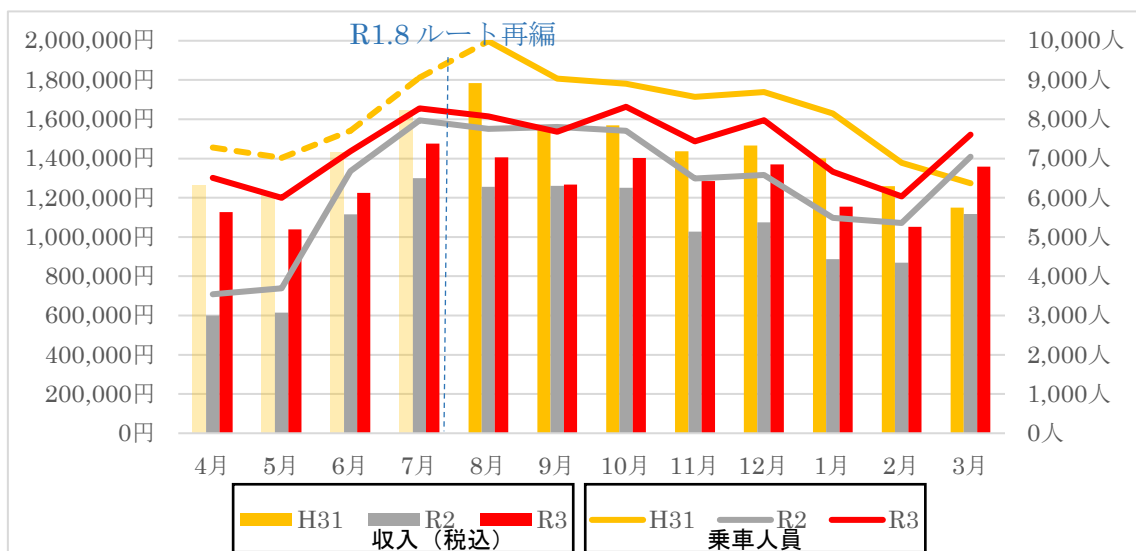
くるりんバスの運行状況について

乗車人員等について

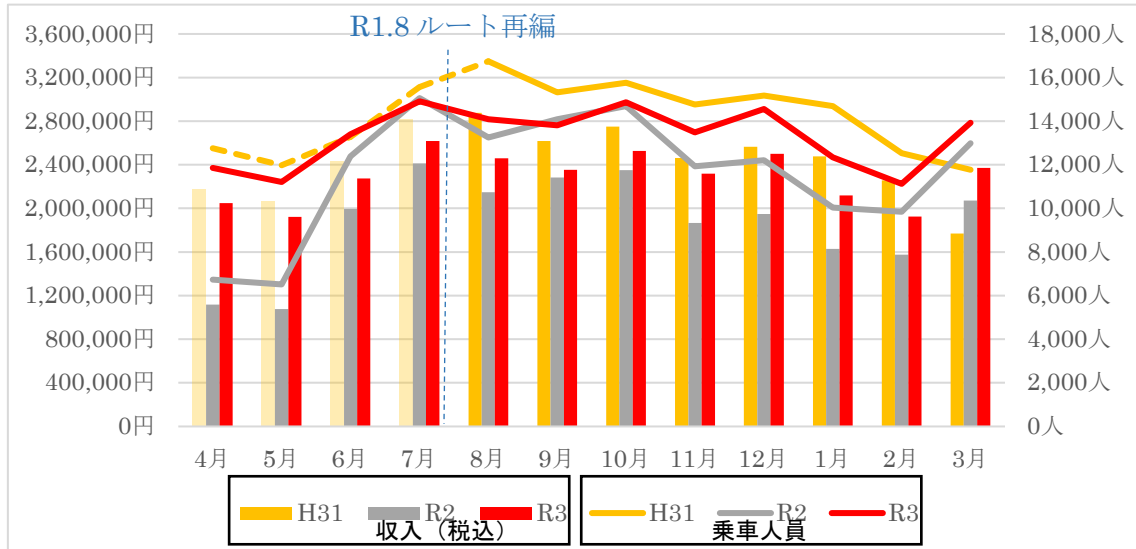
平成31年度から令和3年度の西砂ルート、錦ルートと全体の収入、乗車人員について、以下のグラフ1～3のとおりとなりました。令和2年4月、5月の緊急事態宣言時に乗車人員が大きく落ち込み、それ以降も緊急事態宣言時やまん延防止等重点措置期間の落ち込みがみられますが、令和3年度の乗車人員は、令和2年度と比べて14%の増となっています。平成31年度の8月～3月と令和3年度の同時期を比較すると7%の減となっています。



グラフ1：収入、乗車人員（西砂ルート）



グラフ2：収入、乗車人員（錦ルート）



グラフ 3 : 収入、乗車人員 (全体)

収支率について

ルート再編後、令和2年3月までの全体の収支率は28.3%で、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度は26.3%と大きく落ち込みましたが、令和3年度は28.8%と回復が見られます。また、令和3年度の各月の収支率は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置など新型コロナウイルス感染症の影響が特に大きかった令和3年4月、5月及び令和4年2月を除き、30%前後で推移しています。

ルート再編後のルート別の収支率は、西砂ルートで平成31年度25.7%、令和2年度22.2%、錦ルートで平成31年度39.0%、令和2年度30.9%と全体の収支率と同様にコロナの影響で令和2年度は大きく落ち込みましたが、令和3年度は西砂ルート24.1%、錦ルート34.1%と回復が見られます。